

# 第59回「社会を明るくする運動」

## 海王丸パークで街頭宣伝活動を展開



▲ 一同揃って「さあ、これからがんばりましょう」

# 射水更生保護

発行・編集

射水保護司会  
会長 米澤 治夫  
TEL 0766-52-4321

〒934-8555  
射水市本町2丁目10番30号  
射水市福祉保健部 社会福祉課内

当日は北本射水市担当主任官も応援に駆けつけ、全員で記念撮影の後、保護司四十名・更生保護女性会員十二名、総勢五十二名は、祝日・海の日と相俟って過日行われた新湊大橋工事の様子や、帆船海王丸の総帆展帆を一目見ようと多くの人達で賑わう中、桃太郎旗を立て、『社会を明るくする運動』の横断幕とともに、曇り模様ながらの暑さをものともせず、竹製のうちわ、薬物乱用防止のパンフレット、ティッシュを今や定番となったエコバックに詰め、八百個を配布してこの運動の更なる協力を訴えました。

途中、第五十九回・社会を明るくする運動の射水市実施委員長、分家射水市長も激励に駆けつけ一同この運動の大切さを再確認し、終りに北本主任官のあいさつがあり街頭活動を終了しました。

七月は「社会を明るくする運動」の強調月間であり、射水保護司会では、去る七月二十日(月)、海王丸パークを会場に、第五十九回「社会を明るくする運動」街頭宣伝活動を展開し、犯罪・非行のない明るい社会の実現と更生保護への理解を訴えました。

**非行・犯罪のない  
明るい社会を願って**



▲ 分家実施委員長も“激励に”



この機関紙は一部共同募金の配分金を受けて作成しました。

# 平成二十一年度定期総会開催 新会長に米澤治夫氏を選任

平成二十一年度定期総会は去る四月二十日(月)、午後一時三〇分より射水市小杉社会福祉会館に於いて開催され、来賓として別所富山保護観察所長、分家射水市長、中田射水警察署長、北本射水担当主任官、矢野射水市社会福祉協議会長・石灰射水地区BBS会長、市関係部課長、更生保護女性会、市小中学校長会、名誉保護司会員等関係各位多数のご臨席を賜り開催されました。

総会は、はじめ棚元会長があいさつに立ち、これまでの実績とともに基礎固めが出来た今、さらなる成果が可能であると未来への期待を込めたあいさつがあり、来賓の分家射水市長、中田射水警察署長、別所富山保護観察所長より祝辞を頂きました。

引き続き議事に入り、前野保護司を議長に選任し、議案第一号平成二十一年度・事業報告、議案第二号平成二十一年度・収支決算書、第三号議案・平成二十一年度保護司会役員選出について、議案第四号平成二十一年度・事業計画書(案)、第五号議案・平成二十一年度収支予算書(案)等を審議し原案どおり承認議決されました。

本年度は、棚元会長が平成二十一年五月二十九日付で任期が満了となり、予め会長職退任の意思を表明され、また副会長職にあった竹林眞昭保護司、石黒善昭保護司より退任して後進に道を譲りたいとの申し出があり、理事会で検討した結果、後任として会長に米澤治夫保護司、副会長に、五十嵐繁久、梅崎一江保護司を選任、さらに役員候補、各部会の構成も変更を加え別表のとおり提案、総会で承認されました。

▲ 就任の決意を述べる米澤新会長



## 【新役員】

会長	米澤 治夫
副会長	五十嵐繁久
理事	梅崎 一江(主任保護司兼)
	江尻 昭
	川口和香子
	御後 一夫
	炭谷 幸子
	寺腰 健一
	三宅 陸夫
監事	谷口 繁
	鈴木 光正
総務部会長	川口和香子
副部会長	高橋 禮子
研修部会長	御後 一夫
副部会長	眞岸 勝彦
書記	藍口 信子
広報部会長	寺腰 健一
副部会長	林 弥生
協力組織部会長	新中 孝子
副部会長	江尻 昭
地域活動部会長	三宅 陸夫
副部会長	大浜 晴彦
学校部会長	北村 外雄
副部会長	炭谷 幸子
事務局会長	海内 貞行
事務局次長	高松 徹

## 就任にあたって



射水保護司会 会長 米澤 治夫

平成二十一年度射水保護司会総会に於て、不肖私が会長に選任されました。浅学非才な未熟者ですが会員や行政当局、関係団体の皆様のご協力、ご支援のもとこの重責をつとめさせて頂きたいと思っています。

本年は、更生保護制度施行六十周年を迎えます。人間で言えば還暦、過去を振りかえり、未来を見据えて、志は高く、しっかり足を地につけ更生保護事業を推進して行きたいと考えています。

更生保護制度は、保護司や更生保護女性会等と保護観察所の官民共同事業で、昨今の市民協働行政の草分け的な存在であり、したがって協働行政を担う我々保護司は特に保護司会が行う研修や諸行事に積極的に参加し、自己研鑽に勉めなければなりません。

会員の皆様には仕事等の都合もありましようが、法務大臣の委嘱状を頂いている以上はぜひご参集下さいませようお願いいたします。

射水保護司会は今年度も部会制による事業を図って行きます。主要目標の第一は、教育委員会及び学校との提携

を深め不登校やいじめ等の非行の根絶を図ること、社明運動に対するご理解とご協力をお願いしたいと思います。

第二は刑務所出所者等の就労支援活動の強化です。ご存じのように県内でいち早く射水地区協力雇用主会を立ち上げ現在二十六社の雇用主のご協力を頂いております。

しかし、出所者等は地元で就労することを嫌がる傾向にあります。そのために隣接の協力雇用主会が重要な存在となり、少し離れた所の「企業」が求められることとなります。幸い県の協力雇用主連盟が八月にNPO法人化され、地区雇用主会の取りまとめとその役割が充実されるものと思われまます。その意味から、射水市や県で更なる雇用主の発掘が求められます。

さて、最近テレビ等で青少年の凶悪な犯罪が報じられています。「更生保護」誌二十年二月号に香川靖雄(女子栄養大学副学長)さんが「朝食のすすめ」と題して、非行少年の不規則な生活は、社会生活に必要な規律が人間の脳の前頭葉に確立されない。そのため人間の本能である食欲、性欲、闘争心が発動され反社会的な行動が抑制されずに事件が発生すると考えられる。と説いておられます。この衝動を抑制出来るのは大脳の前頭葉に糖代謝を盛んにすること、そのために必要なことは規則正しい食生活であり、特に朝食が大切です。学業成績と朝食の関係では科目、

学年にかかわらず前頭葉の理性の働きが生活の乱れを招き低下することを示しています。

我々、保護司としても「朝食のすすめ」が学業不振や不登校、非行防止に役立つ事を理解し、学校側と密接なコミュニケーションを保ちながら対処してまいりたいと思えます。

### 平成二十一年度

### 射水市更生保護女性会総会

四月三十日(木)、午後二時から射水市新湊交流会館二階ホールに於いて平成二十一年度射水市更生保護女性会総会が開催されました。



▲ 開会のあいさつをする新中会長

開会の言葉に次いで会員綱領を唱和、ひまわりの譜を全員で斉唱した後、新中孝子会長があいさつに立ち、「地域で出来る事、当たり前の事を当たり前に取り組んで行きたい」と述べました。来賓として分家射水市長、米澤保護司会長、別所富山保護観察所長が其々

の立場で祝辞を述べ、その中で別所所長はこの春、かつて中学生生活体験発表大会に出場したことのある射水出身の女性職員が入ってきた事など含め、社明運動がいつか花開く事があると述べられ、その後議事・研修と滞りなく終了しました。

### 県更生保護女性連盟 創立50周年記念大会開催

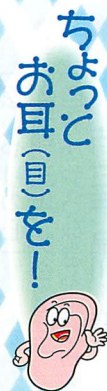
射水市更生保護女性会

副会長 川口 和香子

去る六月三日、ANAクラウンプラザホテル富山において、創立五十周年記念大会が盛大に開催されました。射水市更生保護女性会より会員四十名が参加しました。記念式典では、野上裕子会長があいさつされ、狩野安日本更生保護司会連合会長、別所富山保護観察所長らが祝辞を述べられました。また更生保護活動に尽力された十一人に感謝状が贈られました。

射水市更生保護女性会の前 森節子会長が受賞されました。講演は弁護士横田尤孝(よた)最高検察庁次長検事が「更生保護について思うこと」と題して講演されました。社会の寛容さが失われつつある中で私達同じ人間として仲間である立場を忘れず、犯罪者に対して、同じ目線で接することの大切さを力説されました。記念コンサートでは「トリプレッツ」の若い三人の女性による『ひまわりの譜』を美しいソプラノと

ピアノ演奏のより会場の全員で大合唱をして五十年目より百年を目指して心ひとつに第一歩を踏み出しました。



### ちよつこ お耳(目)を！ 更生保護女性会

(全体研修報告から)

射水警察署少年警察補導員田村恵子氏による「子供たちは今」と題しての講演の中で、親なら知っておきたい携帯電話の安全な使い方のうち、出会い系サイトによる犯罪、不幸になるなど迷惑メール、チェーンメールの被害に遭わないように、持たせる時は親子でしっかり話し合う。十四歳未満の子供たちの使い方には要注意、他には万引犯罪が多い事等考えさせられる事が多かったそうです。そのあとのグループ討議では：  
・子供たちの目線に立って「信頼してるわよ」の一言で、暖かい心の通じ合う人間関係が育つと思う。  
・地域の大人の女性として笑顔や、やさしい声かけで『育てる』役割の輪を広げていきたい。  
概要は以上でした。皆さんの感想は如何ですか？

# 第五十九回 『社会を明るくする運動』

## 射水市実施委員会開催

七月は『社会を明るくする運動』の強調月間であり、六月二十三日(火)、射水市中央図書館に於いて市長を委員長に二十二の構成団体からなる実施委員会が開催されました。

実施委員会委員長・分家射水市長、別所富山保護観察所長、主唱者・米澤射水保護司会長のあいさつの後、海内事務局長より、平成二十年度の実施結果報告、第五十九回『社会を明るくする運動』射水市実施委員会実施要綱・要領(案)その他について協議、承認されました。

この運動を通じ、少しでも明るい社会の実現に力を合わせ協力して行くことを誓い合いました。



▲ 会議に先だってあいさつする分家市長

## 法務大臣・知事メッセージ伝達

社明運動強調月間の始まりを告げる、七月一日(水)、射水市長室に於いて第五十九回『社会を明るくする運動』法務大臣及び知事のメッセージ伝達式が行われました。

当日は、米澤保護司会長が、五十嵐梅崎副会長、高松事務局次長立ち会いのもと、声高らかにメッセージを読み上げ、式は短時間ながら厳粛なうちに滞り無く終了し、改めてこの運動の意義がより多くの人に理解されるようにとの思いを新たにしました。



▲ メッセージ伝達風景

# 第28回射水市中学生生活体験発表

## 『釣谷匠平君(新湊西部中)県大会へ』

第五十九回『社会を明るくする運動』

射水市中学生生活体験発表大会は五月二十八日(木)、新装なった射水市立新湊南部中学校・体育館を会場に開催されました。

当日は、同校生徒会の皆さんの司会進行により進められ、米澤保護司会長が開会のことば述べ、山崎美克射水市中学校校長会会長から激励の言葉を頂きました。

市内全七校からの代表がそれぞれの日常や学校での生活の中で経験したことや体験をもとに五分間の持ち時間をフルに使い発表しました。

審査には、星野正義射水市教育委員会教育次長他、射水保護司会から四名



▲ 当日 発表者の皆さん

があたり、審査の時間を利用しアトラクションとして境文夫保護司がサキソフォーンの演奏を行い会場は楽しく和んだ雰囲気になりました。

星野正義市教育委員会次長の講評に続き、審査結果発表が行われ、「自分がやらなきゃ誰がやる」と題して発表した新湊西部中学校三年の釣谷匠平君が県大会への代表に選ばれました。

最後に南部中学校生徒代表のピアノ伴奏と境保護司、南部中学校生徒全員で同校の校歌を斉唱し、五十嵐保護司会副会長の閉会のことばのあと閉会しました。

県大会は、七月四日(土)、一時からボルファートとやまで開かれました。

(県大会の記事参照)

- 発表者は次の皆さんです。
- 射 北三年 土橋 由香
  - 大 祖母の生き方から 門二年 松原 尚生
  - 新湊南部三年 村田 祥恵
  - 「思いやりの心」 新湊西部三年 釣谷 匠平
  - 「自分がやらなきゃ誰がやる」 古三年 品川 奈月
  - 「大切な人を胸に」 小杉南二年 青石 渚子
  - 「命の尊さ」 小杉三年 田邊みのり
  - 「間違いから学んだこと」

### 石黒善昭氏 受章記念祝賀会

春の叙勲で瑞宝双光章・受章の石黒善昭氏の受章記念祝賀会は六月二十七日(土)、射水市の第一イン新湊・孔雀の間で開かれ、百余名がその功績と受賞をたたえました。

氏は昭和五十八年以来保護司として更生保護活動に尽力され、四月までは射水保護司会副会長の重責にあり今は県保護司会連合会理事として活躍中です。祝賀会では発起人を代表して米澤治夫射水保護司会長があいさつし、分家静男射水市長、別所良紀富山保護観察所長、泉田恒男市議会議員、奥野愉喜雄作道自治会長が祝辞を述べ、森田高参議員議員の発声で乾杯しました。石黒さんと妻のヒロ子さんはお孫さんらに花束を受け、更に社会の役に立つよう努力したいと謝辞を述べました。



▲ 石黒夫妻、お孫さんらと記念撮影

### 釣谷君に富山県知事賞 富山県中学生生活体験発表大会

七月四日富山市のボルファートとやまを会場に行われた第四十七回富山県中学生生活体験発表大会で、射水市代表、市立新湊西部中学校三年の釣谷匠平君がみごと最高賞の富山県知事賞に輝きました。

各地区大会からの代表十七人がそれぞれの体験をもとに非行や、犯罪のない明るい社会づくりについて地域や学校生活での感じた事を発表した中で、十二番目登壇した釣谷君は「自分がやらなきゃ誰がやる」と題し、十四歳の挑戦で体験したごみ収集会社での仕事を通して、人の嫌がる仕事を積極的に行うことの大切さや、経験を通しての思いを、よく通る、はっきりとした口調と抑揚のある話ぶりで、十分な説得力と感動を呼び、知事賞にふさわしいものでした。



▶ 代表して表彰を受ける釣谷君

受賞者を代表して受賞に臨んだ釣谷君に会場から大きな拍手がわきあがりました。

### 受賞おめでとうございませう。

—市更生保護女性会関係表彰の方々—

◎平成二十一年五月二十七日

日本更生保護女性連盟会長表彰 棚元 静江(市更生保護女性会副会長)

◎平成二十一年六月三日

富山県更生保護女性連盟創立五十周年式典に於いて  
富山県更生保護女性連盟会長感謝状 森 節子(前射水地区会長)

### 思い出すままに

棚元 理一



会長職を辞めてから早や二か月も過ぎました。まさに「光陰矢の如し」です。

「平成の大合併」で生まれた射水保護司会は、皆様方のご尽力により立派な組織になりました。感謝にたえません。千数百年の歴史に育まれた「越中国射水郡ノ民草」の伝統と共通遺傳子の賜物でもありましよう。

約三十年間保護司を勤めました。始め頃は提出書類に戸惑い、期限延滞や定例会欠席などを重ねて執行部の方々に随分迷惑をかけていました。

七十歳代になって、罪を犯した人達自身はいつも「脛の傷に悩み苦しんでいる」ことに気付きました。

犯罪の手を染めず「脛の傷に悩まない人間」を一人でも多く育てるには、先ず今日の地域連帯感や家庭内躰教育などを見直してみることが大切ではないかと思えます。

今後、心豊かで健全な青少年の育成を考える時、日頃犯罪者の更生保護に携わり、こまやかな対応に慣れている保護司への期待が多くなっていくことでしょう。皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

末尾ながら、射水保護司会各員の益々のご健勝を祈り、併せて長年賜りましたご交誼に厚く御礼申し上げます。

◆事務局日誌◆

- 平成21年4月3日 第一回理事会(協議事項・総会)
- 20日 平成21年度射水保護司会定期総会
- 5月12日 第一期地域別定例研修会 第二回理事会(協議事項・諸行事、叙勲)
- 13日 第59回社明運動・県推進委員会
- 28日 射水市中学生生活体験発表大会
- 6月2日 代表者会議
- 3日 地域活動・広報部会
- 9日 地域活動部会協議会 三宅部長出席
- 23日 第59回社明運動・射水市実施委員会
- 27日 第一回総務部会 石黒善昭氏の叙勲受章を祝う会
- 7月1日 法務大臣・知事メッセージ伝達 青少年育成射水市民会議 総会 梅崎、五十嵐
- 4日 第47回県中学生生活体験発表大会
- 5日 6・26ヤング街頭キャンペーン
- 14日 第59回社明運動・富山県シンポジウム
- 20日 第59回社明運動・街頭宣

伝広報活動(海王丸パーク)  
21日 第二期地域別定例研修会  
22日 定期駐在

部会だより

○総務部会

総務部会は理事会で認められた事について全て参加します。

○研修部会

平成21年度定例研修テーマ  
研修済

- 第1期 住訪について(4・20)
- 第2期 家族との関わりについて(7月)

予定

- 第3期 犯罪被害対応について(9月)
- 第4期 各種プログラムについて(12月)
- その他 適宜自主研修として(一回開催したいと思っています。)

○広報部会

- 4月20日 第一回打ち合わせ
- 6月3日 第二回地域部会と合同打ち合わせ
- 7月30日 広報紙7号発行

○協力組織部会

平成20年10月28日  
「射水地区更生保護協力雇用主会が設立スタート以来、社会資源

の開拓、協力雇用主の発掘連携活動と支援、更女、BBS会、協力雇用主会の各種行事に参加し部員全員協力して使命達成の努力をしています。

平成21年6月22日

第一回 県協力組織部会開催  
各地区保護司会の協力雇用主開拓状況、さらにはその問題点と対策について協議

○地域部会

- 4月20日 地域部会 第一回打ち合わせ
- 5月13日 海王丸財団事務局へ申し込み(三宅・大浜) 小杉署長へ連絡
- 6月3日 広報部との合同打ち合わせ(働く婦人の家)
- 7月20日 社会を明るくする運動 街頭宣伝

○学校部会

- 6月10日 作品コンテスト応募依頼 全右
- 7月31日 各小・中学校より作品搬入

保護司の異動

○退任保護司

(平成二十一年五月二十九日付)  
棚元 理一  
北林 吉之  
永きに亘りご苦労さまでした。



編集後記

今年度は会長、副会長、役員の異動がありました。目下、定年等による保護司補充の人選が進行しています。

今号では、保護司活動への示唆の意味で、米澤新会長の抱負や、棚元前会長からの激励の記事をお願いしました。

射水保護司会に、新しい風が吹こうとしています。この追い風を更生保護に生かしたいものです。広報を通じてこの風を見るように出来れば良いのですが…

(寺腰 記)